

1. 経 済 動 向

記事提供：一般財団法人 建設物価調査会 北陸支部

新潟県内の景況について

新潟県鉱工業指数をみると、令和7年9月の生産指数は前月比0.4%上昇の94.0で、4ヵ月ぶりの上昇となった。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業、プラスチック製品工業等11業種が上昇し、化学工業、電気・情報通信機械工業、鉄鋼業等4業種が低下した。出荷指数は94.8で、こちらも前月比5.1%の上昇となった。これは、化学工業、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業等14業種が上昇し、鉄鋼業が低下したことによる。在庫指数は89.1で前月比3.5%の低下となった。これは、電子部品・デバイス工業、化学工業、電気・情報通信機械工業等9業種が低下し、汎用・生産用・業務用機械工業、鉱業、プラスチック製品工業等5業種が上昇したことによる。

令和7年9月の有効求人倍率は1.39倍（全国平均1.20倍）で前月比0.01ポイントの低下となった。新規求人倍率は2.17倍で、こちらも0.08ポイントの低下となった。主要産業別にみると、教育・学習支援業等が上昇し、宿泊業、飲食サービス業、運輸業・郵便業、製造業等が低下した。雇用情勢は改善の動きにやや足踏み感があり、引き続き、求人・求職の動きに留意しつつ、物価の高騰等が雇用に与える影響にも十分注意する必要がある。

令和7年9月の新潟市消費者物価指数は、総合で110.9となり前月比変わらず、前年同月比では3.0%の上昇となっている。前月からの動きをみると「被服及び履物」が6.0%上昇したものの、「教育娯楽」が1.5%低下した結果、総合で前月と同水準となった。また前年同期比では3.0%の上昇となった。

富山県内の景況について

富山県鉱工業指数をみると、令和7年9月の生産指数は100.8で前月比4.9%の上昇となり、2ヵ月ぶりに上昇した。これは13業種中、化学工業、金属製品工業、電気機械工業等の8業種が上昇したことによる。なお低下した業種は、汎用・生産用・業務用機械工業、窯業・土石製品工業、輸送機械工業等の5業種となった。在庫指数は104.3と前月比0.8%の上昇となり、2ヵ月連続の上昇となった。これは13業種中、化学工業、電気機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業等7業種が上昇したことによる。なお低下した業種は、輸送機械工業、非鉄金属製品工業等6業種となった。

令和7年9月の有効求人倍率は1.52倍となり、前月比0.02ポイントの上昇となった。新規求人数は7,894人と前年同月比7.8%増と、5ヵ月連続の上昇となった。主要産業別にみると、宿泊業、飲食サービス業等で増加し、医療・福祉が低下した。雇用情勢は、求人が求職を上回って推移しており、持ち直しの動きがみられるが、物価上昇等が雇用に与える影響に引き続き注意する必要がある。

令和7年9月の富山市消費者物価指数は、総合で112.2となり前月比0.4%の低下となった。これは、前月比で「被服及び履物」等は上昇したものの、「教養娯楽」等が低下したことによる。また前年同月比では、「教育」が下落したものの、「食料」等が上昇したことにより3.0%の上昇となった。

石川県内の景況について

石川県鉱工業指数をみると、令和7年9月の生産指数は115.1と前月比13.1%上昇と、2ヵ月ぶりの上昇となった。これは、汎用・生産用・業務用機械工業、電気機械工業等が上昇したことによる。出荷指数は112.5と前月比10.2%の上昇で、こちらは3ヵ月連続の上昇となった。また在庫指数は73.9で前月比1.7%低下し、こちらは3ヵ月連続の低下となった。

令和7年9月の有効求人倍率は1.57倍で、前月比0.03ポイントの低下となった。また新規求人倍率は2.57倍で、こちらも前月比0.05ポイントの低下となった。主要産業別にみると、製造業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、複合サービス事業等が上昇。一方、建設業、卸売業・小売業、宿泊業、飲食サービス業、教育・学習支援業等は低下した。雇用情勢は、求人が求職を上回って推移しているものの、一部注意を要する状態にある。

令和7年9月の金沢市消費者物価指数は、総合で112.2となり前月比変わらず。これは、「食料」、「被服及び履物」が上昇し、「教養娯楽」等が低下したことによる。また前年同月比では、「食料」、「交通・通信」、「住居」等が上昇し、2.8%の上昇となった。

※ 上記は、令和7年9月時点での経済活動である。

主要経済動向指標（北陸地方3県の比較）

項目・ 県別			鉱工業生産動向指数(季節調整済) [令和2年=100] ※石川は令和6年8月分より令和2年基準								
			生 産			出 荷			在 庫		
			新 潟	富 山	石 川	新 潟	富 山	石 川	新 潟	富 山	石 川
令和 六年度	Ⅲ	10月	98.4	96.6	114.5	97.8	-	114.0	95.0	101.4	83.5
		11月	95.6	100.3	102.4	94.2	-	100.9	95.4	102.9	76.5
		12月	97.0	97.5	106.1	97.4	-	101.3	96.0	103.2	80.0
	Ⅳ	1月	98.3	98.7	106.4	96.5	-	103.1	97.0	103.4	87.6
		2月	93.3	98.5	102.2	96.4	-	95.8	94.3	100.7	102.7
		3月	98.9	96.4	100.9	97.9	-	97.1	93.6	101.8	82.4
令和 七年度	Ⅰ	4月	97.6	99.9	99.3	97.9	-	96.4	92.0	103.7	85.5
		5月	99.2	99.2	115.1	99.5	-	112.1	90.3	105.7	95.0
		6月	98.6	97.3	102.1	99.1	-	100.6	87.9	103.9	101.5
	Ⅱ	7月	96.6	101.9	103.5	96.1	-	100.8	90.2	103.1	86.4
		8月	93.6	96.1	101.8	90.2	-	102.1	92.3	103.5	75.2
		9月	94.0	100.8	115.1	94.8	-	112.5	89.1	104.3	73.9
資料出所			県統計課								

項目・ 県別			有効求人倍率			消費者物価指数		
			(季節調整済)			※[2020年=100]		
			新 潟	富 山	石 川	新潟(市)	富山(市)	金沢(市)
令和 六年度	Ⅲ	10月	1.48	1.38	1.56	108.6	109.8	109.6
		11月	1.47	1.38	1.55	108.6	110.4	110.2
		12月	1.48	1.38	1.57	109.5	111.0	110.8
	Ⅳ	1月	1.47	1.39	1.60	110.4	111.9	111.3
		2月	1.45	1.40	1.62	110.1	111.5	111.2
		3月	1.44	1.43	1.68	110.1	111.8	111.7
令和 七年度	Ⅰ	4月	1.50	1.44	1.66	110.8	112.1	112.1
		5月	1.43	1.48	1.65	110.9	112.5	112.0
		6月	1.41	1.50	1.62	110.5	112.4	112.0
	Ⅱ	7月	1.42	1.52	1.60	110.9	112.5	112.0
		8月	1.40	1.50	1.60	110.8	112.7	112.2
		9月	1.39	1.52	1.57	110.9	112.2	112.2
資料出所			労働局職業安定課			県統計課		

(注) ・ P は速報値を示し、r は修正値を示す。
 ・ 各指標は速報値を含み年度修正が行われるため、先の公表分と異なる場合がある。